

# 英知通信



昭和55年 3月31日

英知大学

No.27

## 卒業式式辞

### 「愛と真実の人生を」

学長 傘木 澄男



新卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。御列席の御父兄の皆様にも心からお喜びを申しあげます。本日ここに第十四回英知大学卒業証書授与式を挙行するに当り、卒業生の皆さんに心からのほなむけの言葉を申し述べたいと存じます。若さと希望に満ちて今更社会へ船出しようとしておられる皆さんを拝見しますと、卒業式のことを英語でコメントメント(始まり)と呼ぶ習慣がまことに当を得たものであるという実感がいたします。人生はただ一筋の旅路であり、絶え間ない成長の過程であって、人間には一生卒業(学び終える)ということはないからではありません。とはいえ、皆さんが学業生活をひとまず終えて、卒業式を迎えられたということは、まことに意義深いことであり、私共は皆さんの胸中の喜びと将来への抱負を推察して、共に喜びを禁じ得ないのであります。

文字通り転換と模索の時代となることとでありましょう。世界のますます複雑化・流動化していく中で、国際情勢、国内情勢、そして人間生活全般がどう変っていくのか、どの方向に向っていくのか、誰にも予測できない状況であります。とくに、物質的な豊かさを目標に一直線に突き進んできた私共日本国民は、今獲得されたその豊かさの中で自分たちが必ずしも幸福になってはいないことに戸惑いを感じています。しかもそこへ今日、資源の不足、戦争の脅威等その豊かさの根底を揺り動かすような要因が加わるに及んで、将来への見通しはますます混迷の度を深めています。

こういふ時代に生きるためには、過去のやり方や経験に頼るだけでは足りません。何よりも自分の頭で物事を考え、創造的に自らの道を切り開いていく能力が各人にとって最も大切なものとなります。かつては人道、社会の仕来たりというものが決まっていた、人はその定められたレールの上を進んでいけばよかったものであります。価値観の多様化した多元的な今日の社会におきましては、そういう訳にはいきません。何が正しく何が誤りか、何が善で何が悪か、何がどの道を選択すべきか、一人ひとりが自分自身のしっかりした考えと考え方を持つことが必要であります。これに反して、社会の仕来たりや世間の常識、人がこうしている

からということだけを自己の行動や判断の尺度にしていく自主性のない人間は、世の中のでどもない流れに流されるだけで、決して本当の幸福を見いだすことはできません。中学生や高校生、あるいは大学生に成長したわが子に、ある日突然反抗され、家出や非行、あるいは自殺をされたりして、一体今までの自分の生き方のどこが間違っていたのかと思ひ悩む多くの親たちのことを見たり聞いたりするとき、人間というものはまだ若いうちに、何が人生の価値であり幸福であるのか、まず何を大切にすべきかを、しっかりと掴み、それによって自分の人生を礎にいくことがいかに大切なことかと痛感するのであります。どんな時代におきましても更社会は厳しいところであり、一歩そこを踏み出すならば、もはや今までのような甘えは許されず、周りからの温い保護も期待できません。しかし、皆さんの中には伸びていく者の力があります。どんな境遇にあっても決して挫折せず雄々しく進んでいって下さい。

今皆さんの心の中には、四年間の学生生活を振り返って、自分はここで何を果たしたのであるか、四年間は無駄には終らなかつたか、という反省があるのではないでしようか。しかし私共は皆さんがこの四年間、意識・無意識の内にこの学園ならではの何ものかを学び、身につけたことと信じます。知識の乏しさということとは心配する必要はありません。知識はこれから一生の間補い、蓄えていけるからです。それよりもキリスト教の精神と教育理念に基づき、人間形成を建学の精神として、その理想に向けて努力しているこの英知大学において、もし皆さんが人間人格の尊厳に目を開かれ、真理に対する謙虚さ、世界同胞意識、人間愛の精神を心に喚びさまされる

ところがありません。英知大学で学ばれたことには十二分に意義があつたと云わなければなりません。そしてそれがこれからの皆さんの人生を真に豊かなものとし、あらゆる試練の中で大きな力となるものであると信じます。

人間の低い欲望に迎合する商業主義に汚染された今日の風潮の中で、私達はあくまでも人間人格の尊厳を見失ってはなりません。人間は生物進化の袋小路に立つ高等な動物にすぎないものではなく、神の似姿において創られた存在であります。即ち人間はこの自然本性の限界を突破して神の無限の完全さまで召され開かれた存在であり、創造主なる神との一致において完全な自己実現に到達すべき、尊い存在であります。

このような召命を持つ私達人間の自己完成にとって、愛と真実こそ人生における最大の価値であります。皆さんはどうか一生をかけて愛の人、真実の人となして下さい。愛とは自己を他者に与えることです。愛は、愛そのものである神の創造に成る万物の、存在と運動の原理であります。他者のために生きること、敢てひとのために損をすることのできる人になること、これが人間として生きるということであり、人間性の深さ、人間の豊かさというところであります。自己中心、マイホーム主義、物質万能主義を脱してこの愛を生き、尊い人間にとつてふさわしく、尊いことはあります。また、真実とは絶対者への忠実であり、これによって人間は、人間の正しいあり方を挫折させる自己絶対の危険を避けることができます。真理を自分ではなく自分を真理に合わせる、ありのままの心、謙遜の心、これがあつて始めて人間社会の和合と平和も

可能となるのであります。この愛と真実こそ、私達が何よりも心掛けるべきことであり、人生の幸福の秘訣なのであります。

皆さんの在学中、英知大学は目覚ましい発展を遂げました。施設面では図書館とチャペル、更に研究棟が完成して、学園の様相は一変しました。そして今新たに学生会館が完成しようとしています。皆さんの母校はこのようにこれからも絶えず発展・向上していくことでしょう。その母校英知大学にとりまして、よき社会人として、またよき家庭人として、実社会にあってその本分を果たしながら、母校を温く見守って下さる卒業生の皆さんこそ、欠くことのできない、そして最も力強い支えなのであります。

卒業生の皆さん、皆さん一人ひとりが、社会の中のそれ／＼与えられた場で、英知大学の卒業生として健闘され、立派に生きていかれますように。皆さんの前途に、全能にして慈しみ深い神の御祝福を心から祈り本日の私の式辞といたします。

昭和五十四年度卒業式

祝辞

後援会会長

野口 徹

皆さんご卒業お芽出とうございませす。又種々の表彰をお受けになられた方々には重ねてお芽出とうございませす。お芽出た今日の日をお迎えになられたことは、皆様お一人おひとりにとってお喜びはもとよりでございますが、ご両親様のお喜びも一入のことと心からお喜び申し上げます。本日こうして卒業の日を迎えることができたのは一重に永年行

き届いたご指導を下さいました学長先生はじめ諸先生方のご指導の賜と存じます。後援会として厚くお礼申し上げます。本当に有難うございませ

さて皆様の輝かしい門出にあたりいくつかのことを申し上げお祝の言葉にさせていたゞきたいと存じます。皆さんがこれから主役となつて活躍される世の中には皆様ご自身が背負わねばならない重荷が沢山横たわっております。まずその一つは厳しい実社会の生活です。その実社会の中で最も厳しいのは企業であると思ひますので、それを中心に申し上げてみますと、企業と学校の違いはたゞ与えられた問題を解いておればよいというのではなくまた与えられないからといって何もしなくてよいというものではないということとす。自ら探し求め開拓していく仕事において大学卒の価値を発揮できるのではないのでしょうか。大いに開拓者精神、創造力の発揮が求められるところであります。

次の大きな問題は「モラル」の問題であります。最近、今年に入つてからでも年少者の起こした殺人事件があいつぎ、少年暴走族が警官を引き逃げする事件などが起つておりますが秩序ある世の中の仕組は人間の「モラル」の制御によつて支えられ秩序が保たれるものであります。それが狂いはじめているということとす。制御が狂えば暴走して秩序が破壊されるこれは大変な問題です。皆さんにお願いしたいことは「モラル」向上に力を注いでいたゞきたいという事です。皆さんのようにキリスト教精神の教育を受けられた方にとつて率先して手がけていたゞきたい役割と考へるものであります。一方皆さんの生い立ちを考へますと誠にめぐまれた環境で諸先生方の

手厚い支えによつて今日まで育つて来られたわけです。大変有難いことではあります。その結果皆さんに万一雑草の如き力強さが失われていくとすれば、これからの人生にとつて大変困つたことだと思ひます。皆さんは、このことを心して洋々たる人生にしっかりと目標をもつていたゞきたように力強く立ち向つていたゞきたものと念願する次第でございます。そのことが先生方に対する恩返しになると信じております。最後に皆様の健康とご活躍を切にお祈りいたしましてお祝の言葉といたします。

昭和五十四年度卒業式

祝辞

同窓会会長

福原 宏 章

皆様ご卒業おめでとうございませす。同窓会は、皆様を心から祝し、おむかえ申し上げたいと存じます。しかし、今日からは、皆様ご自身自身で答を出し、自分自身でその責任をとらなければならぬ、きびしい社会の一員となられたわけです。私から皆様に望むことを申し上げますと、第一に、健康であること、第二に大局観を持つこと、第三に、行動的であること、第四に、信用をつけること、以上の四つを真剣に努力してゆくこととす。努力のなるところには、信用はないということとす。ならば努力とは一体何なのか。努力を支える3本の柱。その1つは「苦勞」です。それら自他ともに認められる苦勞です。自ら苦勞を背負つてゆく姿勢が必要とす。その2は、「勤勉」、その3は、

「持続」です。(中略)最後に、このような話があります。聞いて下さい。

スイスにユーラと云う青年がおりました。ある時計工場に勤めはじめた間もないある日に、ユーラは、技師長(彼の上司であり、管理職にあり人ですが)にむかつて「時計はどんなのが一番上等なのですか?」とたずねました。技師長は、「ネジをまいた時も、ネジのゆるんできた時も、狂わないのがいい時計と云えるんだよ」と答えました。技師長は、重ねて、「まだあるよ、寒い時も、暑い時も、時刻の変らないのがよいものだ」と答えました。ユーラは、「もうそれだけでですか?」とたずねました。「その上、置き場所が変わつても、狂わないのが、よい時計だ」と技師長は答えました。それを聞いたユーラは、「私は、そんな時計を作るように努力します」と答えるのかと思つたら、思いのほか、「私はそんな人間になりたいたいです。なりたいたいです。なまけない、そんな人間になりたいたいです。と云う事を申された事と理解します。どうぞ、お元気で。

昭和五十四年度

卒業生の概況

昭和五十五年三月十九日、好天に恵まれ第十四回卒業証書授与式が、本学講堂で挙行された。式場には、多数の来賓、先生、父兄、在学生の見守る中に「卒業式の祈り」から始まり、いとも厳肅に進み、卒業生一人ひとりが卒業証書をいただく顔に喜びの笑みが洩れ、ほほえましい

風景が醸し出された。本日の卒業生二四名について、あげてみると、

- 1 賞状賞品を授与された者
  - 神学科 小泉ひで子
  - 英文学科 井本智恵子
  - 全 越山 優子
  - 全 原田 明子
  - イスパニア文学科 藤原 正嗣
  - フランス文学科 山下三千代
  - イスパニア大使賞
    - イスパニア文学科 梅原千家子
    - 全 大友真理子
    - 全 白井 繁

- 2 記念品の贈呈
  - 卒業生代表田口英雄君より、キヤノンのコイン式コピー一台を贈呈する。
- 3 送 辞
  - 英文学科三年亀井テル子さんが在学生の代表として、心をこめて送辞を述べる。
- 4 答 辞
  - 卒業生代表西川典男君より先生並に在学生に対し、感謝の意を表わすと共に、今後は本学で学び得た英知をもとにして、社会に活躍することを力強く述べ

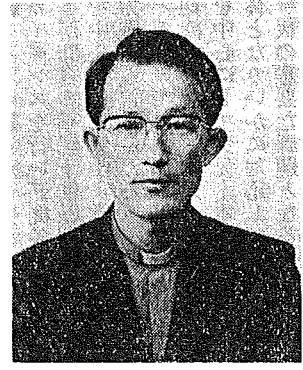
5 就職の状況

就職希望者数	八二	九〇	一七二
就職者数	八〇	七九	一五九
	男	女	計

- 主な就職先
- 木下商専、小泉産業、ダイエー、豊中信用金庫、東亜紡織、日本楽器、日本鋼管
  - 松下電器産業、YKK吉田工業、教職員、公務員等。

卒業の難しいユニークな大学？

学生部長 松本信愛



日本には非常に多くの大学がある。これは需要と供給の関係によるのであろうから一応結構なこと云うべきである。しかし、本心に勉強したい若者が多くて大学が溢れているのなら真に結構なのだが...

「青春を楽しむ最後の場。」と考えているようにある。ところが、大学当局は勿論、先生や両親は「勉強をするために」大学へ進んだと考えているので、当然食糧が生じるわけである。

あまり勉強をする気はなくても、就職の為に大卒の資格を取りたいのなら(多くの学生はこの為にだけ進学しているようにある)、少なくともその資格を取るために努力すべきである。その努力もせずに資格だけほしいというのはあまりにも虫がよすぎる。そしてその条件というものも「必要な単位を取る」とあり、単位を取るためには「規定通り授業を受け」、「試験に合格」しなければならぬのである。故に「大卒の資格」がほしいのなら、好き嫌いで関係なく、授業に出席し、勉強すべきであるし、授業に出たたくなく、勉強もしたくないなら「大卒の資格」を望まなければいけないのである。別に「大卒」でなくても人間として立派にやっている人はいくらでもいる。ただ大学として、また、教師の立場から迷惑なのは、勉強をする気はないし、だから授業にも出たくないけれども「大卒の資格だけはほしい」という学生たちである。

聞くところによれば、一年に数回しか大学に行かなかったとか、ひどいのになると、試験の時まで担当教官の顔が知らなかったとかいう学生でも単位を取って卒業していきける大学があるとか聞く。
本学は創立日なお浅く世間にはあまり名が知られていないので、前記のような大学と同程度のものと考えて、はいつてくる学生もいるようである。しかし英知では、そのような学生はとてや行って行けないし、どうせ卒業は無理であるから、早く他の進路を考えるべきであろう。
本学では、出席日数が足らなければ失格となり、学年末試験などの受験資格が認められない。このことは周知のことであるにも拘らず、毎年卒業を目前にした四回生が学年末近くになってあわてている。これに引っかければ受験資格がないのだから単位が取れるわけはなく、たとえ就職が決まっても卒業できない。それを知らぬ英知生がいるはずはないのだが、毎年卒業を目前にこの点で涙を流している学生が結構いる。「なんとかなる。」とも思っているのだらうか? 「あまい!」そんな

ものごとを「甘く」考えている学生を、とても「英知の卒業生」として世に送り出すわけにはいかないのである。

また、「出席さえしておけば試験はダメでも大丈夫だろう。」と考えている学生もいる。学生が授業に出席するのは当然で、その当然なことをして、なおかつ「試験に合格」しなければならぬのである。毎年、卒業目前であまりにも試験の結果が悪く「再試験の資格もない」とされて卒業を見送る学生が、これまた何人かいる。「出席さえしておけばなんとなかなる。」と考えているのであろうが「あまい、あまい!」自動車学校に毎日通りだけ通っておれば、運転できなくても免許証がもらえるなどと誰が考えるのだろうか? 何を根拠に「大卒の資格」をもらおう方が「自動車の免許証」をもらおう方がいいかげんで易しいと考えるのだろうか?

また就職が決まっておればなんと卒業させてもらえるだろうと考える学生がいるかも知れないが、それも甘すぎる。英知大学はそんな「不正」は、やっていないのである。トラックの運転手に就職が決まったからといって「自動車の免許証」を発行してくれと頼む方がおかしいのである。事実、英知では就職が決まっているからという理由で卒業資格のない者を卒業させるという事はないので、毎年就職が決まっておりますが留年する学生が相当出る。そのような学生は「大学が卒業させてくれたら」などと逆恨みする前に、自分がかんやんとやるべきことをやらなかったばかりに卒業できず就職先に対しては損害を与え、大学に対しては名誉を傷つけたことを大いに反省すべきである。

卒業できなかった... 当然! 試験の点が悪かった... 当然! 卒業できなかった... 当然! 就職が決まっていた... 当然! その理由だけでは卒業させてもらえなかった... 当然!
\*
まじめに授業を聴き、まじめに勉強したら、特に頭がいいとは思われないがすんなり卒業できた... そうでしようね!

英知大学における就職問題の現状

職業指導課長 堀内富之助

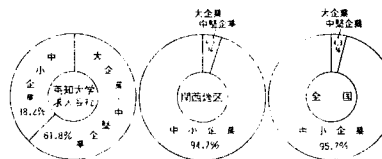
一、英知大学への求人状況
(一) 求人会社数
本学への求人会社数は、現在約一〇五〇社であり、卒業生二百名強に対する就職希望者を二百名とした場合学生一人当たり5.3社となり決して少なくない。民間調査機関による大学別就職希望者と求人会社数は表1の通りである。

※A-Mは私立大学で校名は非公開。関東8・関西4・中部1。
A-Mの大学の大学の求人は、文学部のみに対するものでなく全学部への求人数である。(本学の場合は文学部のみ)。

表1 希望学生1人当りの求人件数

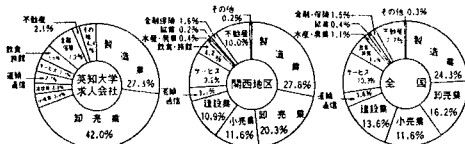
Table with 4 columns: 学部 (Faculty), 就職希望者数 (Number of job seekers), 求人件数 (Number of job openings), 1人当りの件数 (Number of openings per person). Rows include A through M faculties and a total row.

表2 英知大学求人会社と全国・関西地区会社の規模別比較



(二) 求人会社の規模
中小企業基本法(第二条)の基準により国税庁の統計及び本学への求人会社を分類すると、中小企業が占める割合は、全国で95.7%関西地区94.7%本学への求人会社の場合38.2%である。残り61.8%は大・中堅企業である。表2

表3 業種分布別の比較



(三) 求人会社の業種
本学への求人会社の業種は全国・関西地区の全企業における業種分布に比し特に小売・建設業が少なく卸売業(商社を含む)が2倍以上と多い。表3

授業に出席しなかったので

二、五十四年度の応募状況  
 本学への求人は、一人当りの求人  
 会社数・規模・内容等上記の通りだ  
 が、これに対する学生側の利用度の  
 低さが特にめだつた。本年の場合  
 求人依頼のあつた会社への応募が全  
 体の8・6%にすぎず残り91・4%  
 は、まったく手をつけずに無駄にし  
 てしまつたのである。これは本年の  
 場合、縁故で入社する学生が多かつ  
 た事にもよるだろう。しかし、結果  
 的にみれば、縁故や自由応募で入社  
 が決定した会社の大半より、本学へ  
 求人がありながら誰も応募せず無駄  
 になつた会社の方が規模・内容共に  
 すぐれている場合が多かつた。大学  
 への求人への上手な活用が大切だと言  
 えるだろう。

三、今後の課題  
 大学における就職斡旋業務は職業  
 安定法第33条2による。「学校の  
 長は、無料の職業紹介事業を行うこ  
 とができる。」この表現からもわか  
 るように大学生の就職問題は本人の  
 活動を中心として大学がそれを援助  
 するという形になるわけである。先  
 ず本人の自覚ある自主的行動が要求  
 される。また例年一月初めになると関  
 西の某有名私大が父兄のための就職  
 ガイダンスを行い新聞等で話題にな  
 るが昨今の不況下就職問題は、本人  
 を中心として大学―学生―父兄の総  
 力戦とも言えるだろう。この三者が  
 バラバラではあまり好ましい結果は  
 期待できない。本人の積極的な行動  
 を中心にして父兄―本人―大学が一  
 体となりいかに対応してゆくかが、  
 今後の重要な課題となるだろう。

四、今までに採用実績のある主な会  
 社  
 (一)メーカー  
 アンソックス・NTN東洋ベアリン  
 グ・江崎グリコ・大塚製薬・河合薬  
 器・川崎重工・久保田鉄工・神戸製

鋼・小松製作所・資生堂・シャープ  
 新日鉄・積水化学工業・田辺製薬・  
 椿本チエーン・東亜紡織・日本オリ  
 ベッテイ・日本楽器・日本チバガイ  
 ギー・松下電器産業・丸大食品・ヤ  
 ンマーディーゼル・吉田工業・レナ  
 ウン他

(二)商社  
 伊藤忠商事・兼松江商・三洋電機  
 貿易・住友商事・松下電機貿易・丸  
 紅・湯浅商事他

(三)百貨店・スーパー  
 高島屋・阪急百貨店・松坂屋・そ  
 ごう百貨店・ダイエー・ジャスコ・  
 ニチイ他

(四)金融関係  
 オランダ銀行・協和銀行・住友銀  
 行・第一勧業銀行・大和銀行・バン  
 クド・スエズ・ファースト・ナシヨナ  
 ル・シテイ・銀行・三菱銀行・幸福  
 相互銀行・興亜海上火災・千代田火  
 災海上・日本生命他

(五)不動産・建設業  
 大倉建設・鹿島建設・関西空港ビ  
 ル・クボタハウス・鴻池組・神戸商  
 工貿易センタービル・大木建設・大  
 和ハウス工業・長谷川工務店他

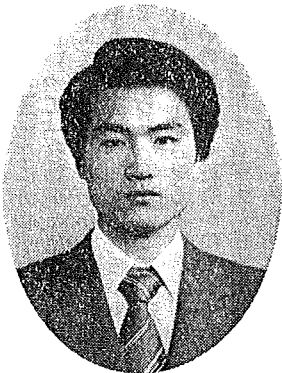
(六)マスコミ  
 朝日イブニングニュース社・大阪  
 新聞社・神戸新聞社・読売新聞社・  
 大阪放送他

(七)運輸業  
 キャセイ航空・全日空・スカンジ  
 ナビア航空・大韓航空・日本航空・  
 パン・アメリカン航空・ブラジル航  
 空・川崎汽船・商船三井・日本通  
 運・国鉄他

(八)サービス業  
 大阪ロイヤルホテル・京都プリ  
 ンスホテル・京都ロイヤルホテル  
 ヒルトンホテル・ホテル・ニューオ  
 ータニ・ホテル・プラザ・阪急交通  
 社他

### 学生会活動を ふりかえって

学生会会長・英文学科  
久木原 秀一



この四年間の学生活動を通じて、  
 一番心に強く残っているのは、三回  
 生の時のことです。一回生では、ク  
 ラスの代議員を務め、二回生で学生  
 会執行部副会長を務め、三回生で学  
 生会会長および大学祭実行委員長を  
 務めました。私がこのような活動に  
 参加するようになったのは、私たち  
 学生がバラバラに分断され、すべて  
 の活動が停滞し、英知大学という一  
 つの世界の中で、学生全体が一つの  
 目標に向ってつき進むということが  
 なかったからです。そこで、まず第  
 一に手がけた活動は、「みんなの学  
 生会」ということでした。ある特定  
 の団体の利益のみを追求するのでは  
 なく、学生一人ひとりの利益を守る  
 ということは、口で言う程、やさし  
 いことではありませんでした。そこ  
 で具体的な行動として、執行部全体  
 で「みんなが参加する大学祭」を取  
 り組むことになりました。「大学祭  
 とは何なのか」という原点に立ち返  
 り、中広く実行委員会を組織し、全  
 員参加の大学祭を勝ち取ろうと努力  
 しましたが、仲々、思うような成果

を上げるには至りませんでした。  
 四年間全体の活動を総括してみると、  
 それまで、明らかにされなかつた  
 点を明らかにし、私たち学生の社  
 会的存在を正しく認識し、伝えると  
 いうことは、行為自体正しくとも、  
 受け取る側には、一定の反対勢力を  
 生んでしまいます。しかし、そこで  
 たじろぐことなく、正義の旗をかか  
 げ通すことによつて、新しい展望が  
 生まれてくるのです。こころ、二年  
 学生会執行部に対する様々な意見が  
 生まれていますが、その意見が、ど  
 のようなものであつても、より多く  
 の学生が、学生会を自分たちのもの  
 だと考え始めているからだと思いま  
 す。このような新しい状況は、一定  
 の成果として取り上げていいのでは  
 ないでしょうか。  
 何分初めての経験で、体力のみで  
 通してきましたが、今後、OBとし  
 て英知大学の発展を見守っていきたく  
 と思います。みなさん、ともに頑  
 張りましょう。

### 研究室だより

- サビエンチア第十四号に掲載さ  
れた研究論文は次のとおり―
- 西山俊彦教授  
概念図式「自我確立」と  
その操作化  
―機能的考察の徹底化への一  
試案―
- 和田幹男助教授  
エリファズの冒頭のことば  
―ヨブ記第四章の訳と解説―
- 井上博嗣教授  
The House of Holiness in  
Spenser's Faerie Queene  
Book I, Canto X.....

### (編集後記)

おことわり  
 この号は卒業生号として三月三十  
 一日には発行する予定でございまし  
 たが、遅れましたことをお詫びいた  
 します。

英知通信  
 昭和五十五年三月三十一日発行  
 編集 英知大学  
 発行者 学長広報室  
 兵庫県尼崎市若王寺苗田  
 一〇の一  
 電話(06)四九一―五〇八三  
 六六一

- 小林 裕助教授  
ウォルター・ペイターの「レオ  
ナルド・ダ・ヴィンチ」につい  
て
- 谷 真嗣助教授  
シェリーの「雲の歌」  
(The Cloud) に ついて
- 井勢健三助教授  
ホーソンの「若いグッドマン・  
ブラウン」―ブラウンの夢―
- ホセ・ルイス・アルパレス教授  
―イスパニア文学科長―  
ヴァリニャーノ来日四〇〇年記  
念によつて「キリスト教布教の  
量的拡大か、質的深化か?」
- イエズス・ゴンザレス教授  
"Asiento de la Sabiduria"  
興津憲作教授  
イスパニア語と日本語の比較研  
究Ⅵ  
語形は違ふが内容が似ていて  
使い分けが問題となる語